

学校だより

きゅうはく

太田市立休泊小学校 第5号 令和7年9月2日

【学校教育目標】

「こころ豊かで
たくましい子
の育成」



2学期がスタートしました

長かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。今年の夏は、「災害級の暑さ」とニュースで騒がれるほど暑い日が続き、子どもたちもややお疲れな感じもいましたが、久しぶりに元気な姿が見られてたいへんうれしく思います。始業式に子どもたちに話しましたが、「早寝、早起き、朝ごはん」の生活のリズムを崩さないようにして、丈夫で健康な体を作ってほしいと思います。ご家庭でも協力をお願いします。

さて、2学期はたくさんの行事があります。それぞれの学年の校外学習、5年生の林間学校、6年生の修学旅行。太田市陸上記録会、4年生音楽発表会、運動会など、いずれも十分に練習や準備を積み重ねて臨むものです。そして、どれも誰かひとりが頑張れば成功するものでもありません。しっかり見通しを立てて、みんなで協力し、作品のようにみんなで作り上げなければ良いものになりません。自分でできることを頑張ること、友だちの良さを見つけて認め合うこと、自分も友だちも大切にすること、もちろん健康で過ごすことなど、頑張らなくてはならないことがたくさんあります。当然、普段の授業もありますし、多くは複数の行事が重なって準備や練習をすることになるので、忙しい2学期になることは間違いありません。ぜひ充実した2学期を乗り切り、一回り成長してほしいと思います。

下の写真は9/1始業式の様子

とても落ち着いた態度で参加していました



9月の行事予定

日	曜	行事・その他
1	月	2学期始業式 給食なし10:20下校
2	火	発育測定 234 年
3	水	発育測定 156 年
4	木	読み聞かせ 12 年 4 年ニッセイ名作劇場鑑賞 5 年林間学校説明会
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	委員会 56 年生 6 時間授業
9	火	
10	水	心臓検診 4 年 13:30~
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	休泊地区体育祭
15	月	敬老の日
16	火	
17	水	4 年生校外学習（県庁他）
18	木	文化庁芸術鑑賞事業
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	全校 5 時間授業
23	火	秋分の日
24	水	授業変更 月 1,2,3,4,5,水 6 の授業
25	木	3 年社会見学（クルベ）
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	クラブ 456 年 6 時間授業
30	火	2 年生校外学習（向井千秋 こども科学館）

2学期の主な行事予定

大きな行事がたくさん！
準備をお願いします。



- 1 日 始業式
- 4 日 ニッセイ名作シリーズ劇場事業鑑賞 4 年
- 14 日 休泊地区体育祭 参加・協力
- 17 日 4 年校外学習（県庁・生涯学習センター）
- 18 日 文化庁事業「学校における文化芸術鑑賞」鑑賞
- 25 日 3 年社会科見学（クルベ見学）
- 30 日 2 年校外学習（向井千秋こども科学館）

- 1 日 太田市陸上記録会（5 6 年希望者参加）
- 7 日 1 年校外学習（桐生が岡公園・動物園）
- 10 日 3 年校外学習（ぐんま昆虫の森）
- 16 日 就学時健康診断（全校 2 時間で下校）
- 20 日 避難訓練
- 22～23 日 5 年林間学校



- 7 日 運動会準備
- 8 日 運動会（午前中半日開催）
- 19～20 日 6 年修学旅行
- 28 日 指導主事訪問日（全校給食後下校）

- 15 日 大掃除・ワックスかけ
- 19 日 地区別児童集会・一斉下校
- 23 日 2 学期終業式
- 24 日～ 冬季休業日



全国学力学習状況調査結果について

4 月 17 日（木）に実施された、全国学力学習状況調査の結果が夏休み前に届きました。これは 6 年生が対象となる調査（テスト）ですが、子どもたちの学習状況を調べるだけでなく、私たち教員が学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。今回もこの調査結果をもとに、本校の児童に身に付けさせたい力を分析しています。

学力の状況は、

国語科は、全国平均より 2.2 ポイント、群馬県より 3.0 ポイント高い結果である。

算数科は、全国平均より 0.1 ポイント、群馬県より 1.0 ポイント低い結果である。

理科は、全国平均より 2.0 ポイント低く、群馬県と同じ平均である。

国語科では、ほとんどすべての領域で、平均を超えていましたが、「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる」問題が下まわっており、課題と考えられます。

算数科では、全国・群馬県と同程度の結果であるが、「目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題」や「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題」「基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題」が平均を大きく下回り、グラフの活用や図形に課題が見られました。

理科では、全国平均をやや下回る結果となりましたが、特に平均が大きく下回る領域はありませんでした。しかし、記述式の回答が求められる問題に課題が見られました。

いずれの教科にしても、**授業の中で表現力を高める授業を多くの教科で実践していくこと、特に算数科では、既習事項の定着を図る授業の工夫を進めることをどの学年でも実践していきたい**と考えています。ご家庭でも、家庭学習の習慣付けのために、できるだけ同じ時間、同じ場所で教科書やノートを開くことをお子さんと約束し、見守っていただければと思います。よろしくお願いいたします。